

# 令和6年度 長野県医療的ケア児等支援センター シンポジウム

## ～学校卒業後の暮らしを考える～

令和6年12月10日(火)13時30分から16時まで  
岡谷市文化会館カノラホール 小ホール

ご挨拶 諏訪保健福祉事務所所長（長野県医療的ケア児等支援センター参与） 三沢あき子

1. 医療的ケア児等支援センターの活動報告

2. シンポジウム「チーム来輝」で創る自立した地域生活

【報告】「人工呼吸器を使用している僕がグループホームで暮らし始めるまで」  
花田養護学校高等部3年 土橋 来輝 さん

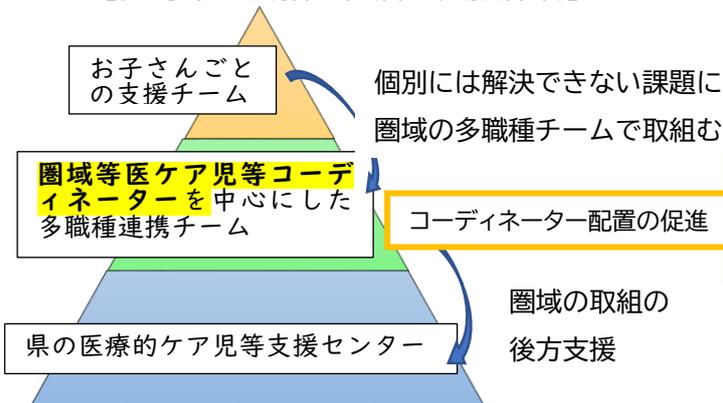
- ◆ ご本人の可能性をチームにつなげる 花田養護学校高等部 担任 金澤 宏一郎 先生
- ◆ 一緒に暮らす仲間として受け入れる シーズグループホーム 武山弥生 さん 大木 斉 さん
- ◆ 施設の医療から地域の医療へ 諏訪圏域医療的ケア児等コーディネーター 笠原 久美子 さん
- ファシリテーター 長野県医療的ケア児等支援センター副センター長 亀井智泉

～会場との質疑応答も予定しています。お気兼ねなくご発言ください～

まとめ 諏訪圏域障がい者総合支援センターオアシス 所長 関 隆雄 さん

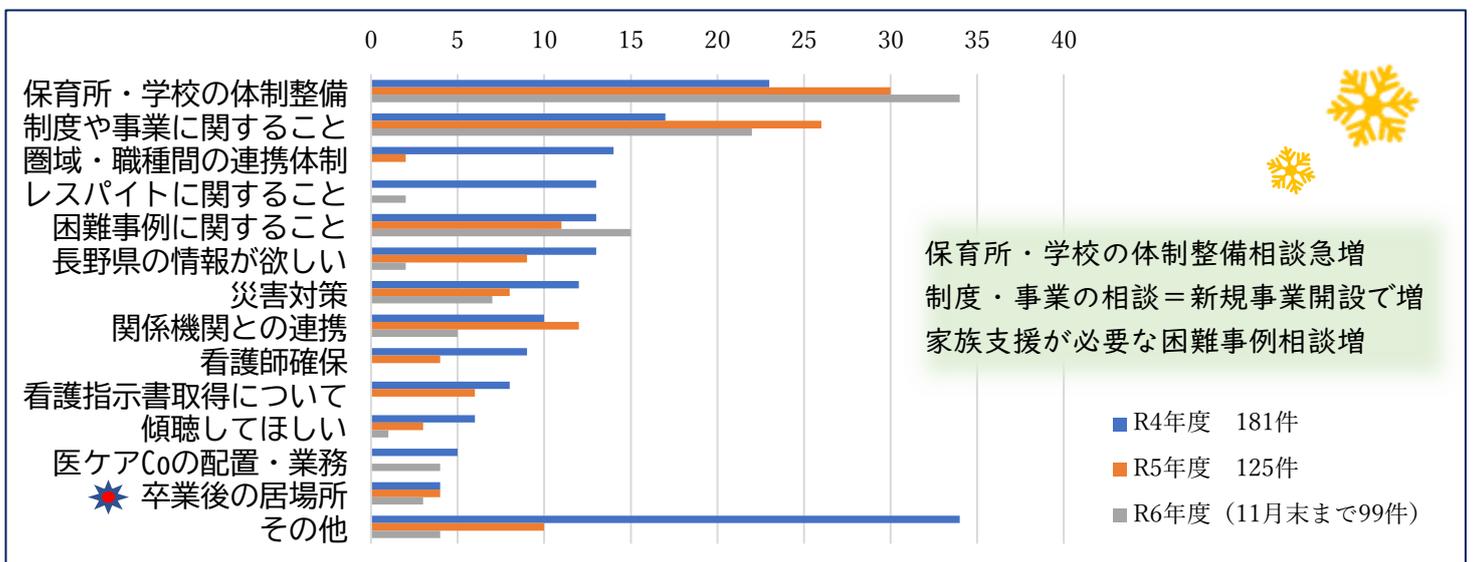
### 1 医療的ケア児等支援センターの活動報告

【長野県が目指す多層な支援体制】



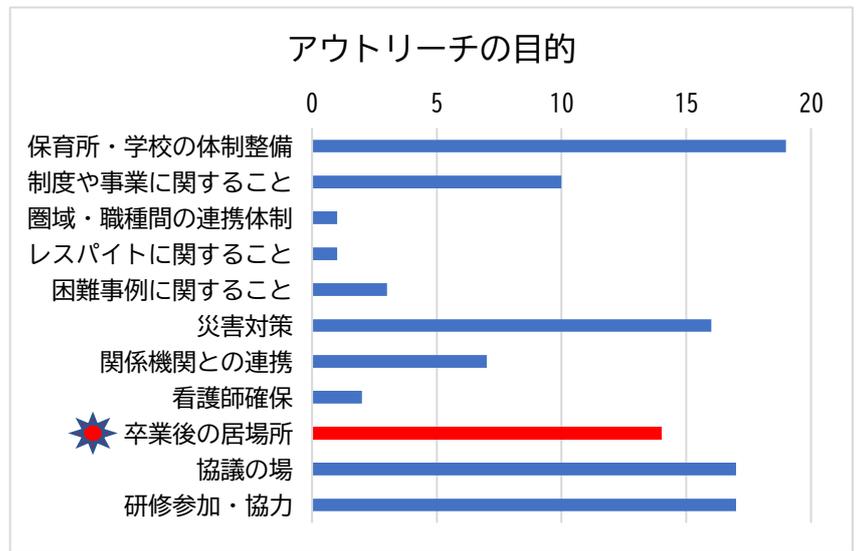
佐久	基幹相談支援センターに看護師を配置
上小	児童発達支援事業所の相談支援専門員、看護師、相談支援事業所の相談支援専門員
諏訪	基幹相談支援センターに相談支援専門員を配置
上伊那	各市町村の保健師が対応
飯田	児童発達支援センターに2名配置
木曾	多職種コンダクターチーム 来年度からの配置を検討中
松本市 塩尻市 安曇野市	インクルーシブセンター 社会福祉士 障がい者支援課 係長 障がい者支援課(基幹相談支援センター)係長
大北	配置を検討中
長野	【千曲・坂城地域】基幹相談支援センター長 それ以外の地域は配置を検討中
北信	基幹相談支援センターに3名(保健師)

### 【新規相談件数 年度比較】



【アウトリーチの実績】(R6年度は11月末まで)

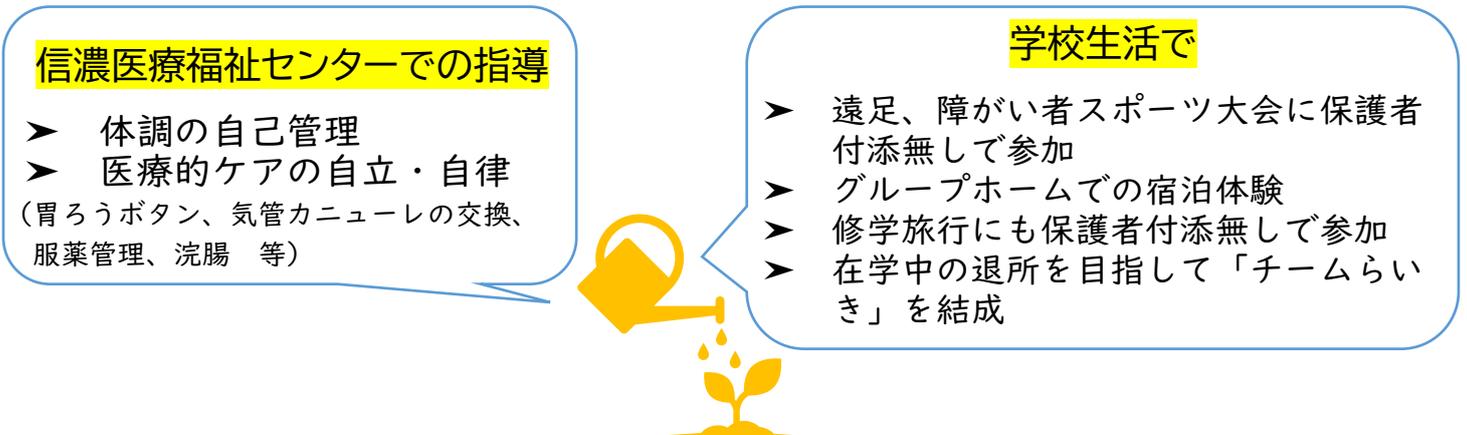
行先	R4年度	R5年度	R6年度
行政(教委含)	9	5	20
学校・保育所	24	29	14
事業所	13	6	10
協議の場	47	43	15
ケース会議	12	8	16
研修・講演	36	29	21
その他	14	11	12
合計	155	131	108



2. シンポジウム 「チーム来輝」で創る自立した地域生活



◆人工呼吸器を使用している僕がグループホームで暮らし始めるまで◆



僕の夢：一人暮らしがしたい・大谷翔平選手に会いに行きたい

僕の力：医療的ケアを自分でできる、だれとでも積極的に話せる、人への気遣いができる、やさしい、英語の勉強も頑張ってる！大谷愛がすごい！

# ◆グループホーム ～どこで誰と生活するかについての選択の機会の確保～◆



障がいがある方が地域で家庭的な雰囲気の下、共同生活を営む住まい・・・  
入居する障がい者に対し、主として夜間において、相談、入浴、排せつ又は食事の介護その他の必要な日常生活上の援助を行う

## 3つの種別とサービス内容

共通:利用者の就労先または日中活動サービス等との連絡調整や余暇活動等の社会生活上の援助を実施

### 介護サービス包括型

主に夜間に相談、入浴、排せつまたは食事の介護その他日常生活上の援助を実施

### 日中サービス支援型

夜間や休日だけでなく、日中も職員が配置され、相談、入浴、排せつまたは食事の介護その他日常生活上の援助を実施。

### 外部サービス利用型

主に夜間や休日に利用者の相談や日常生活上の援助を実施。委託契約を結んだ外部の居宅介護事業者によって入浴、排せつまたは食事の介護その他日常生活上の援助を実施

## グループホーム入居中における一人暮らし等に向けた支援の充実

### 一人暮らし等の実現のための支援

: 自立生活支援加算、ピアサポート実施加算、居住支援連携体制加算、地域居住支援体制強化推進加算

### 一人暮らし等を軌道に乗せる支援

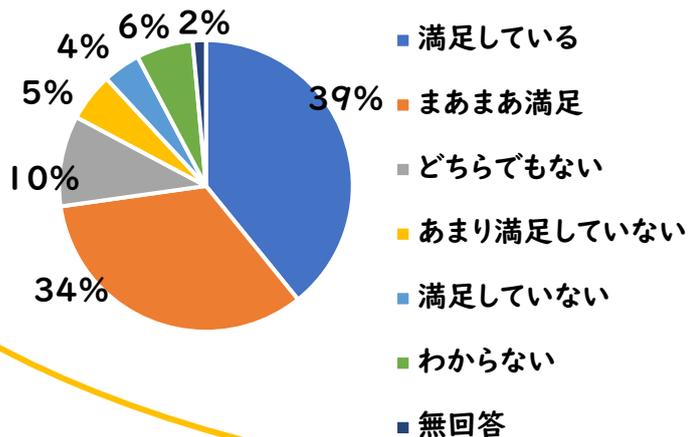
: 退居後共同生活援助サービス費・退居後外部サービス利用型共同生活援助サービス費、退居後ピアサポート実施加算

地域連携推進会議を設置して地域の関係者を含む外部の目（または第三者評価）を定期的に入れる取組が義務付けられます（令和7年度～）

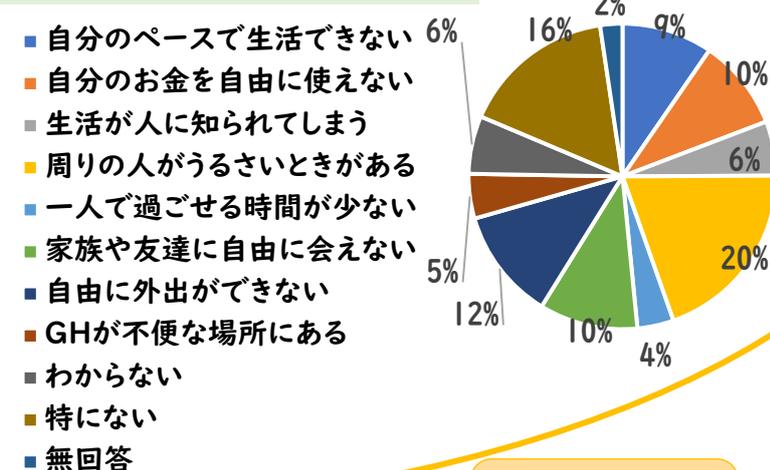
## グループホームでの生活の満足度や今後の生活の希望調査（全国調査）

（令和3年度障がい者総合福祉推進事業）より

### グループホーム生活の満足度



### グループホーム生活のいやなこと



キッチンで料理に挑戦

自分の部屋は自分で掃除



お金の管理も自分で

休日はいろんなところに外出

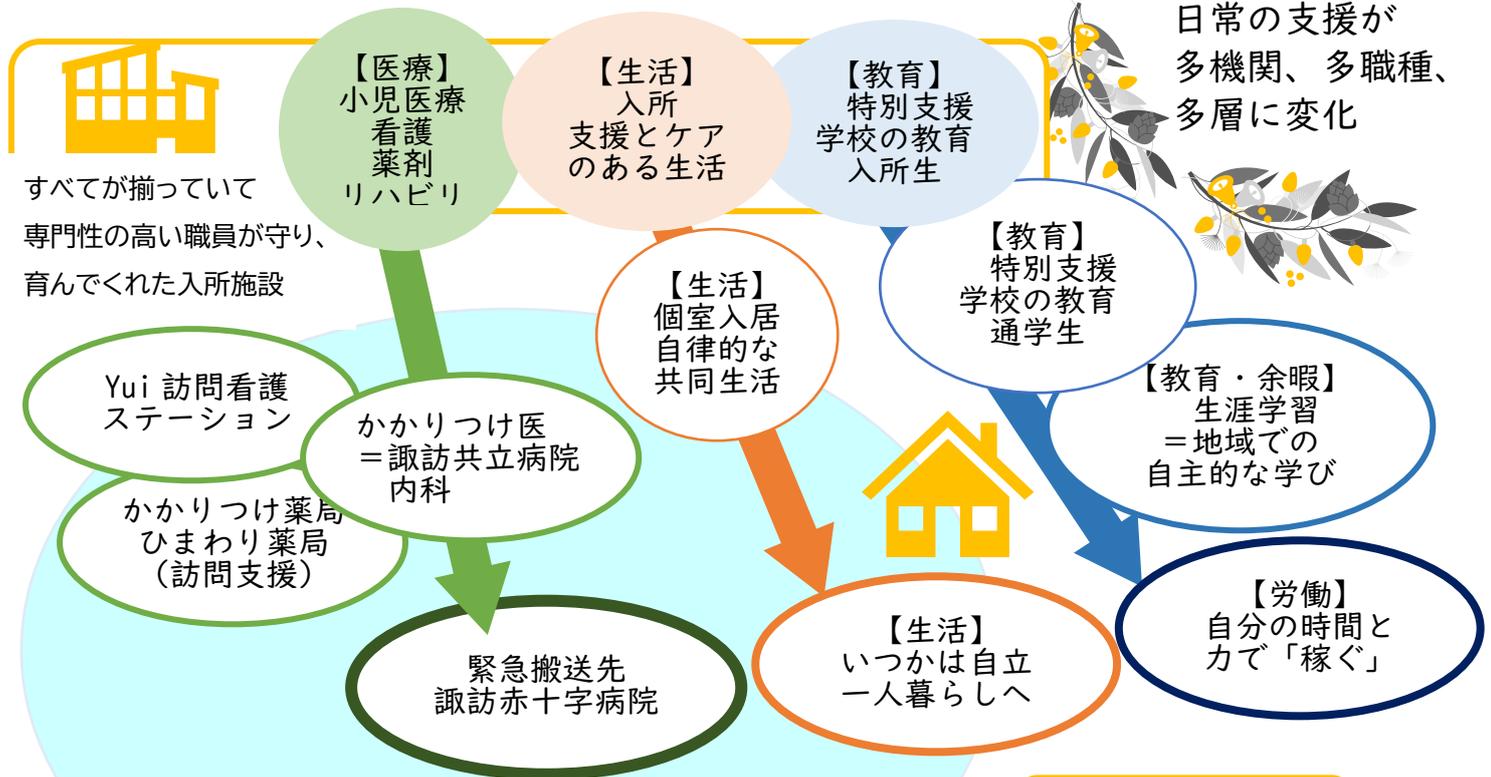


同年代の仲間とカラオケを楽しむ



◆来輝さんの暮らしも新しい挑戦がいっぱい◆

# ◆グループホームでの安心安全な暮らしのために◆

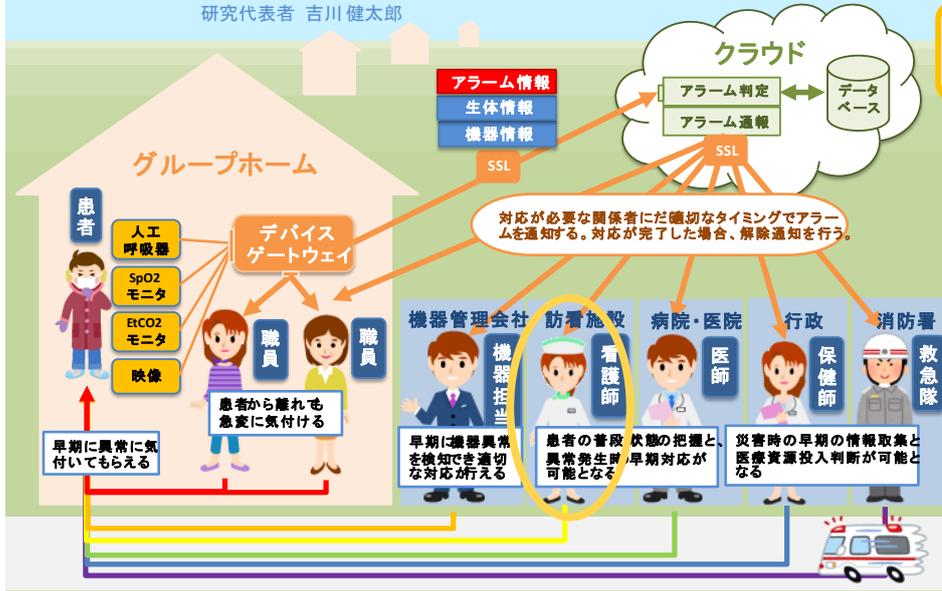


日常の支援が  
多機関、多職種、  
多層に変化

## IoTで遠隔見守り：急変時には 生活の場から救急医療へ迅速につなぐ

### 在宅医療機器スマートアラートシステムを用いた体制の概略図

総務省 戦略的情報通信研究開発推進事業 (SCOPE)  
若手ICT研究者等育成型(若手研究者枠)研究開発(172104101) 2018年2月~2021年3月  
研究代表者 吉川 健太郎



ご本人のベッドサイドの  
パルスオキシメーター



体動・プローブ外れ等  
アラーム原因も明示

数km離れていてもスマホにほぼ  
同時にアラームと数値が届く

グループホーム夜勤スタッフが  
そっと入室、ご本人の状態を確  
認して、異状があれば即対応

- ・人工呼吸器トラブル=メーカー担当者対応
- ・SpO<sub>2</sub>低下=訪問看護の緊急訪問依頼
- ・いつもと違う!=119番!

ご参加いただきありがとうございました。

別紙アンケートにご記入の上、お帰りにご提出いただくか、下記のQRコードから回答をお寄せください。



【長野県医療的ケア児等支援センター】

電話：026-235-7185 (直通) ファクシミリ：026-234-2369

メール：ikea-soudan@pref.nagano.lg.jp

